

Room  
to  
Read



M a k i n g  
R o o m

アニュアルレポート  
2023年



# 子ども達には、 読むための、 学ぶための、 成長するための 「場所」が必要です。

子ども達には、自分自身や家族、コミュニティのために充実した生活を送り、より良い明日を築くための確かなスキルを身につける「場所」が必要です。

本レポートでは、2023年に私達が学びのための「場所」を確保するために行ってきた、さまざまな取り組みについてお伝えします。今年、私達は事業戦略『ビジョン2025』で掲げた重要な目標を達成しました。「2025年までに4,000万人の子ども達に教育を届ける」というものです。ルーム・トゥ・リードは現在、歴史的に教育資源が不足している世界中の地域で4,500万人の子ども達を支援し、子ども達が尊厳とジェンダー平等を保ちながら読み書き能力とライフスキルを身につけるための環境づくりを行っています。目標を1年前倒して達成できたのは、皆様の変わらないご支援の賜物です。

この記念すべき達成を祝う一方で、教育を受ける環境にない子ども達がまだまだ多くいることも認識しています。私達のこれからの取り組みには、皆様の継続的なご支援が不可欠です。来年、私達は25周年を迎えるルーム・トゥ・リードの次の章に向けた大胆な戦略ビジョンを発表する予定です。この戦略的ビジョンは、すべての子ども達が読み、学び、成長するための「場所」を確保し、永続的な変化を生み出すことができるよう、プログラムを加速・拡大することに焦点をおいたものです。



# 目次

## 私達の成果

受賞および表彰、インパクトと成果

6

## 私達の学び

2023年プログラムのハイライト

10

## 私達のさらなる成功に向けて

2023年財務報告

18

## 私達の成長

サポーターのハイライト

20

# CEOからのご挨拶



親愛なる皆様へ

子ども達には「場所」が必要です。それはシンプルでありながらも深い考え方です。

子どもの人生に学ぶための「場所」があり、自己価値を実感し、自らの選択をする空間があれば、すべてが変わります。

この教訓を最初に教えてくれたのは母でした。彼女は13歳で教育を放棄して結婚することを拒み、母や祖母が選んだ道を踏まないことを決意しました。彼女は新しい道を切り開くための「場所」をつくり出しました。私が機会を追求し、自分で築いた充実した人生を送ることができたのは、母の選択の結果です。

ルーム・トゥ・リードは、すべての子ども達にそのような機会を提供し、すべての子ども達に学びと持続的な変化を生み出すための「場所」のある世界をつくり出し、ますます迅速に提供しています。私達は、長期計画『ビジョン2025』で掲げた「2025年までに4,000万人の子ども達に教育を届ける」という目標を上回る成果を達成したことを謹んでご報告します。現在までに、24カ国で4,500万人の子ども達に基礎的な学習スキルを提供してきました。

それでも、これからの課題に注力し続けます。最近の世界的な危機は学びに大きな後退をもたらしました。現在、約2億5,000万人の子ども達が学校に通っておらず、10歳児の中には簡単な文章を理解できない子どもが多数います。さらに国連教育科学文化機関 (UNESCO) は、全世界で2030年までに初等・中等教育を提供するためには、4,400万人近い教師の増員が必要だと警告しています。

ルーム・トゥ・リードは、これらの課題を解決できる独自の立場をとっています。今年、レバノンのベカー渓谷の非公式教育センターに図書室を設置し、難民コミュニティの子ども達に数千冊の児童書を届け、緊急状況にある子どもの特別なニーズに関する研修を提供しました。2023年末までに、このプロジェクトは地域で58,652人以上の子ども達に恩恵をもたらしました。また、ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリーとのパートナーシップを通じて、アジアの15カ国で『She Creates Change』(少女達が未来を変えていく) 映像シリーズを放送し、プログラム内外の数百万の少女達に自己価値の向上とジェンダー平等に関する内容を提供しました。さらに、72,500人以上の教育者に識字教育の研修を行いました。その結果、パートナー校の2年生は、比較校の生徒よりも正しく読む単語の数が2倍以上、理解度の質問に正答する割合が70%多くなっています。

25周年を迎えるにあたり、私達の過去を誇りに思い、自信をもって未来に向かっていきます。ルーム・トゥ・リードの成果は、私達のグローバルなチームの献身と、皆様のようなパートナーの寛大なご支援によって可能になっています。共に、私達は次の章を紡ぎ、数百万の子ども達、彼らの家族、そして次世代に持続的な変化を生み出す「場所」をつくり出していきます。

*Geetha Murali*

ギータ・ムラリ(博士)  
最高経営責任者

# 理事長からの ご挨拶



親愛なる皆様へ

子ども達に学ぶための「場所」があれば、変化をもたらす機会になります。現在の生活やコミュニティをはるかに超える変化で私達皆の未来を形づくるのです。

これが、子どもとして私が最初に得た学び、そして、家族と私が何年もの長い間、ルーム・トゥ・リードを支援し続けている理由です。私の母は小児科の集中治療室 (ICU) に勤める献身的な医師でした。私や姉妹は常に、他の子ども達と一緒にいました。そうした子ども達の精神的、経済的幸福は自分たちのそれと固く結びついており、世界は子ども達がする選択、もたらす変化によってつくられているのだという理解のもと育ってきたのです。

ルーム・トゥ・リードはすべての子ども達の、そして、ひいては世界の幸福を全力で支えます。

成長を加速し、構造的に広く影響を及ぼす能力を構築し続けながら、私達は気象災害、紛争、インフレ、不十分な教育資源など幾多の課題に直面しています。このような課題は、機能するソリューションに投資する重要性を強調しています。設立以来、ルーム・トゥ・リードは教育介入の効果を厳密に測定・評価しており、その結果、教育分野における最も効果的なアプローチの一つであることが実証され続けています。

ですから、次のステップに進む準備はできているのです。今後数年間で、教育システムの変革を加速させる重要な取り組みを推進し、重要な学習リソースをすべての子ども達が広く利用できるようにする機会を追求していく予定です。こうした取り組みには、皆様の支援が不可欠です。

私がルーム・トゥ・リードのプログラムを初めて知ったのは、2018年でした。当時、私はAPAC地域理事会のメンバーで、妻のカミラと一緒にベトナムの高校で行われたライフスキルのセッションを訪れました。私達は、生徒たちが節約に関する授業に没頭し、協力して商品の値段を確認して、予算を立て、貯蓄計画を立てるのを見学しました。その部屋で起こった学びに、私達は深い感銘を受けました。

それ以来、ルーム・トゥ・リードがベトナム教育訓練省の信頼できるパートナーになる過程を身をもって経験してきました。私達の識字教育プログラムと女子教育プログラムは、手頃な費用と拡張性を兼ね備えたプログラムとして全国的に認知されており、この基礎となる活動によって、読書習慣の低下や女子の退学率の不均衡など、全国の子どものリスクを軽減してきました。

ルーム・トゥ・リードは変化を推し進める素晴らしい牽引役です。そして、その変化は皆様のようなパートナーの支援があってこそ、可能となるのです。

ジョン・リンドフォース  
理事長

# Making Room for Results

2023年の成果



1,000万人+  
子ども達へ教育を提供



24  
カ国で活動

4,500万人+

世界中の子ども達へ教育を提供(累計)

## Literacy



累計4,080万人  
世界中の子ども達へ教育を提供  
(累計)

990万人  
子ども達へ教育を  
提供



4,210万冊  
児童書を配布

270万冊  
児童書を配布  
(2023年)



72,531人  
教育者へ研修を提供  
(2023年)



累計4,725  
タイトル  
原作および翻案された  
児童書を出版(累計)

55  
言語で出版(累計)

## Gender Equality



累計370  
万人

世界中の子ども達へ  
教育を提供(累計)

786,941人  
子ども達へ教育を提供



96%  
プログラム参加者が進学



422人  
教師へライフスキル教育の研修を提供



231人  
政府関係者へライフスキル教育の研修  
を提供

## 表彰および受賞歴



レポート『HundrED Global Collection 2023』で取り上げられたトップ100のグローバル団体のうち、アカデミー・チョイス・アワードを受賞：学者、教育者、イノベーター、学生、指導者から成る194人の国際的な専門家パネルによる審査で、3,448の教育関連団体の中からルーム・トゥ・リードがインパクトとスケールビリティで第1位を獲得しました。



カンボジア教育青少年スポーツ省、  
ロイヤル・モニサラボン勲章を受章



# より多くの 子ども達を ひとつ屋根の下へ

ルーム・トゥ・リードのロゴが新しくなりました

屋根というシンボルは、当初からルーム・トゥ・リードのアイデンティティの一部でした。これまでのロゴでは、屋根の下には本が置かれていました。読むための「場所」、子ども達が読み書きのスキルをしっかりと身につける「場所」を生み出したのです。プログラムが拡大し、より多くの子ども達を支援するようになるにつれて、その「場所」も広がっていきました。今、ひとつ屋根の下にはさらに多くのものがあります。ルーム・トゥ・リードは、ジェンダー平等を促進する識字教育およびライフスキルを身につけるための「場所」を生み出しています。基礎的な学びのための「場所」をつくっているのです。

2023年、私達はプログラムの進化に合わせてビジュアルアイデンティティをアップデートしました。これまでにルーム・トゥ・リードは、物理的にも、仮想的にも、時間的にも、概念的にも、子ども達が学ぶための「場所」をつくり上げてきました。新しいロゴでは、屋根のマークとルーム・トゥ・リードの名前が、そのことをシンプルにかつ力強く表現しています。

このブランドリフレッシュにあたり、プロ・ボノにてご支援をいただいたテザー社（英語）とスタンリー・ヘインズワース氏に心から謝意を表します。ルーム・トゥ・リードというブランドの、世界中の人々が知り、愛している部分をそのままに、これからより多くの子ども達のために、より多くの「場所」を生み出し続けるという決意を表現していただきました。

[さらに詳しく。](#)





ROOM TO READ PRESENTS

# SHE CREATES CHANGE



『  
私が受け持っているすべての  
女子生徒たちの中に、幼  
い頃のアンビカの姿を見て  
います。

』

誇り高い姉のことを、ネパール語で「ディディ」と言います。アンビカはその「ディディ」です。16歳から、一家の大黒柱として、両親と4人の弟妹を養ってきました。彼女自身も教育を修了し、兄弟姉妹にも同じように教育を受けさせました。

アンビカは現在、ルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムに参加している何十人もの少女達の「ディディ」となっています。ソーシャルモビライザーとして、アンビカは1対1のメンタリングとサポートを行います。また、ライフスキルを教える授業も行い、少女達が思春期の多くの困難を乗り越え、高校教育を修了し、自分たちの生活やコミュニティに影響を及ぼすジェンダー間の不平等に対処できるよう支援しています。

「ルーム・トゥ・リードのメンターが、私自身のディディです。もし、今も心の中でこだまするその声がなければ、私はすべてを諦めていたでしょう。」

**アンビカの物語を読む。**



2024年国際女性デーを記念し、ルーム・トゥ・リードはワーナー・ブラザーズ・ディスカバリーと提携して、受賞作である『She Creates Change』（少女達が未来を変えていく）シリーズをアジア全域で放送しました。意欲をかき立てる教育的なコンテンツを世界中の4億3,200万人の思春期の少女達に届けるという目標を大きく推進しています。

『少女達が未来を変えていく』は、短編アニメーション6作品とそれぞれの実写のミニ・ドキュメンタリーを組み合わせたシリーズで、バングラデシュ、インド、ネパール、スリランカ、タンザニア、ベトナムにおける歴史的に低所得層のコミュニティで暮らす勇気ある若い女性たちの物語を紹介しています。ハラスメント、食糧不足、早期結婚など、各エピソードで少女達が自分自身とその将来のためにそれぞれ主張することで、彼女特有の困難に立ち向かう様子を描いています。

『少女達が未来を変えていく』では、映画シリーズのほかに書籍やオーディオストーリーもあり、少女達が生活や地域社会に前向きな変化をもたらすことを支援しています。パートナー団体を通じて、また対面式のルーム・トゥ・リードのプログラムと併せて、ストーリーに沿った学習教材がオンラインで提供されることとなります。

[詳細はこちら。](#)



『少女達が未来を変えていく』の映画版は、世界中の映画祭や個人上映会で賞賛され続けています。

# 私達の

教育者トレーニングとコーチングの場

「  
世界中の教師たちは、教育者であり変革者。  
そして、私たちの生活や地域社会を支える  
名もなきヒーローです  
」

ギータ・ムラリ博士、UNESCO総会の壇上にて。  
ドバイ・ケアーズとのパートナーシップにより開催されたバーキー財団グローバル・ティーチャー賞授賞式





## ラオスで教員養成大学ワークショップを開発

ラオスの識字教育チームは、ルアンパバーン教員養成大学と協力して、小学校の図書室でティーチングに関するワークショップを開催しました。現役教師や教職志願者を対象とするこのワークショップでは、児童書の選び方や読み聞かせ、読書習慣の確立、教室での魅力的な読書コーナーの作り方など、本質的なトレーニングを提供します。さらに、教室図書スペースの設置を通し、実践的な実習ができる機会があります！

ルーム・トゥ・リードは教育・スポーツ省とのパートナーシップを通じて、このワークショップをラオス全土に広げ、高い技能を持つ教師から学べる環境を整え、すべての子ども達が質の高い教育を受けられるよう支援しています。



## インドの教育者に対するライフスキル指導能力の向上

2022年9月、ルーム・トゥ・リードはインドのアンドラ・プラデシュ州カダパ地区で、歴史的に低所得の地域社会に暮らす少女達のために、政府運営の寄宿学校6校で女子教育プログラムを実施しました。2023年には同地区でのルーム・トゥ・リードの活動を拡大し、約2,000人の少女達を支援しました。

この活動拡大の一環として、ルーム・トゥ・リード・インドは、2023-2024年度に女子教育プログラムのライフスキルセッションを指導する教師、メンター、校長62人を対象として、3日間のトレーニングプログラムを実施しました。トレーニングでは、学級経営、効果的な授業の進め方、3つの重要なライフスキルカテゴリー（自己認識、自己効力感、社会認識）について掘り下げたディスカッションを行い、ライフスキルセッションを円滑に進められるよう教師の能力を高めることに貢献しました。



## 南アフリカで学部講義シリーズを拡大

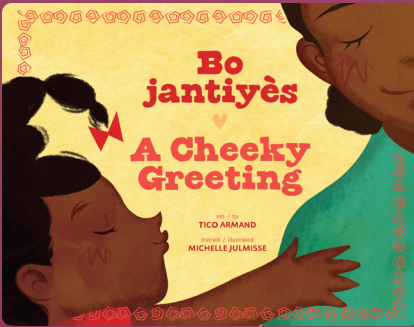
南アフリカのヨハネスブルグ大学およびプレトリア大学とのパートナーシップを通じて、ルーム・トゥ・リードでは、アフリカ言語での読書と児童文学の教育について、大学生向け講義シリーズを開発しました。講義の内容とカリキュラムは教育学部の4年生のために特別に作成され、読書意欲と読書の構成要素、範囲と順序の構築、テキストの解読可能性、児童書のキュレーション、ストーリーの書き方など、さまざまなトピックを取り上げました。

2023年のシリーズ展開の成功を受けて、南アフリカの識字教育チームは現在、教育学士課程の全学生（約1200人、全員が教職志願者）向けにカリキュラムを変更しています。講義は、インズルー語、セペディ語、ヴェンダ語、セツワナ語、シツオンガ語、およびインデベレ語で行われ、未来の教育者たちが、南アフリカ全土の子ども達の識字能力を高めるために必要なトレーニングやリソースを利用できる場となります。大学とのパートナーシップを通じて、ルーム・トゥ・リードは、この講義シリーズが南アフリカ全土の教員養成課程で採用できるモデルとして確立されるよう活動しています。



# 私達の

## カリキュラムとコンテンツ



### ハイチのクレオール語の児童書を全米の子ども達に届ける

ルーム・トゥ・リードは、より多くの現地語の本を読める場を米国で創出しています!エデュカ・ビジョン社(英語)とのパートナーシップにより、初のハイチ・クレオール語と英語の作品集を出版しました。フロリダのクレオール系コミュニティの作家が執筆・挿絵を手がけた7冊のバイリンガル作品で構成されています。『Ansanm (Together)』と題されたこの作品集は、パートナーである非営利団体ファーストブックによって44州の教育者や保育者に配布され、ハイチ・クレオール語を話す子ども達が母国語での読み書きの能力を身につけるために必要な質の良い読み物を提供しています。

[『Ansanm』作品集をリテラシークラウドで今すぐ読む。\(英語\)](#)

### イタリアで新しいグラフィックノベルを出版

イタリア初の独立系児童書出版社であるエディトリス・イル・カストロ社(英語)とのパートナーシップにより、ルーム・トゥ・リードは3冊の若年層向けグラフィックノベルを出版し、ナポリとパレルモの思春期の少女達が重要なライフスキルを学べる場を増やしました。地域の才能ある作家、イラストレーター、デザイナーがルーム・トゥ・リードのワークショップに結集して生まれたこの小説は、南イタリアの若い女性たちが、レジリエンス、リーダーシップ、コラボレーションといったライフスキルを駆使して日々の困難を乗り越え、目標を達成し、よりジェンダー平等な世界をつくっていく実話を描いています。

[小説の一部を見る\(英語\)](#)

### パキスタンでウルドゥー語の児童書を配布

パキスタンで初めてウルドゥー語のオリジナル児童書集を出版・配布し、子ども達が、母国の言語と文化を反映した物語を読む喜びを体験できる場を提供しました。ルーム・トゥ・リードの作家とイラストレーターのワークショップを通じて新刊15作品を作り上げ、地域の出版社3社(パキスタン国立図書財団、アリフ・ライラ・ブックス社、バス・ソサエティ社、マクブール・ブックス社)(英語)とのパートナーシップで出版し、地域の出版エコシステムに貢献しています。この児童書は、パンジャブ州のラホール地区とバハワルプール地区の図書室の本棚に並び、全国のプログラムパートナーと共有されました。

[児童書集を見る](#)

## 南アフリカで現地語の児童書や指導書を制作

ルーム・トゥ・リードは地域の教育団体と協力して、南アフリカ全土の学校向けにツワナ語、セペディ語、セソト語の3言語で質の高い児童書と識字教材集を制作、展開しました。「Big Books」(子どもや大人と一緒に読めるシェア読みができる大きな児童書)をはじめ、読書指導のベストプラクティスを詳述した教育者向けガイド、子ども達の語彙力増強、理解力向上、フォニックス認識強化を支援する識字教育ワークシート、教室図書セットが含まれ、教育者向けの学習レベル別レスンブック、児童書、教室と図書室管理ガイドライン、本のメンテナンス関連のポスターなども提供しています!

南アフリカ基礎教育省は教材の利用拡大を前向きに検討しており、このイニシアチブ拡大を通じて、より多くの子ども達とその教師が質の高い教育コンテンツを活用できる「場所」づくりに繋がっています。

## クロニクルブックス社と協力して『Dancing Hands』を世界中の読者に届ける

『Dancing Hands』は、フィリピンでアダルナ・ハウス社(英語)との共同出版関係によりもともと出版され、生涯にわたる読書愛を育むために不可欠な要素として手話の美しさを讃え、耳の不自由な子ども達に、彼らの経験をもとにした物語を届けています。このエディションは、クロニクルブックス社との複数作品でのパートナーシップにより、世界中の英語読者のために芸術的な内容で改訂されています。

この作品は、子どもや若者の読者向けに障がいの経験を芸術的に表現した本を表彰する、アメリカ図書館協会の2024年度シュナイダー・ファミリー・ブック賞を受賞しました。またエズラ・ジャック・キーツ財団と南ミシシッピ大学のド・グランモンド児童文学コレクションとの提携でその年の優秀な作家とイラストレーターを表彰する2024年エズラ・ジャック・キーツ賞も受賞しました。

[詳細はこちら\(英語\)](#)



# 私達の

## 学習システム

### パートナーコミュニティ全体に図書室や読書コーナーを設置

**タンザニア:**タンザニアの識字教育チームは、ムクランガ地区議会全域で新しい図書室を35カ所に設立し、57,300冊以上の児童書を配布するとともに300人以上の教師と政府職員に図書管理と読書活動のトレーニングを行いました。これらの新図書については、ルーム・トゥ・リードの図書室モデルを改良し、個別の教室に収まるように設計されています。73,900人以上の子ども達が自身の発達段階に適した良質の読み物に触れ、トレーニングを受けた教育者と出会い、読書の楽しさを体験できる居心地の良い学習スペースを利用できるようになっています。

**バングラデシュ:**ルーム・トゥ・リードの学校図書室モデルをバングラデシュで拡大する継続的な取り組みの一環として、ルーム・トゥ・リードは、初等教育局と協力してダッカの公立小学校10校に59カ所の図書室を設置しました。これらの図書には、ルーム・トゥ・リードの図書室モデルの重要な要素がすべて組み込まれています。この居心地のよい子どもに優しい空間には、現地語で書かれた多様で良質な本が揃い、読み聞かせ、ペア読み、独り読みなどの読書活動、継続的な教師トレーニングなど、あらゆることを各教室内で行うことができます。

**パキスタン:**ルーム・トゥ・リードは、地域団体のイダーラ・エ・タリーム・オ・アガヒと提携し、パキスタンのラホールとバハワルプル为学校10校に活気あふれる図書室を設置しました。また、その過程で教師と学校管理者に図書管理と識字教育のトレーニングを提供しました。これらの図書室は小規模ながらも頼もしく、この地域でルーム・トゥ・リードが最初に達成した成果の上に築かれたものです。当時、ルーム・トゥ・リードは識字教育チームの継続的なサポートを受けながら、公立学校24カ所にこうした教室図書を設置してきました。



## インドネシアの図書室を通じて新たな変革者を激励

識字教育チームは、インドネシアの西カリマンタン州とマルク州の小学校との新しいパートナーシップを通じて新しい学校図書室を12カ所に設立し、子ども達が生涯にわたって読書を楽しむ気持ちを育める場を作りました。色彩豊かで子ども向けの学習スペースは現在、2つの州で何百人もの子ども達に現地語の良質な児童書を提供しています。その中には、インドネシアで変化をもたらした一般の人々の物語を特集した『Becoming a Changemaker Book Collection』というルーム・トゥ・リードの作品集も含まれています。ルーム・トゥ・リードが非営利団体アショカと共同出版した本はどれも、環境保護からジェンダー平等まで、さまざまな社会問題を取り上げています。

[詳細はこちら](#)



## レバノンの非公式教育センターで子ども達を支援

レバノンでは近年、何百万人もの子ども達が学校に通っていません。その多くは難民です。子ども達の読み書き能力を高め、学校に通っていない子ども達が正式な学校制度に移行できるよう支援するために、ルーム・トゥ・リードは2022年に、[レバノン研究・研修機構](#) (英語) と提携し、「すべての子ども達に手を差し伸べる (Reaching All Children)」というプロジェクトを立ち上げました。それ以来、地域の出版社と協力してアラビア語のオリジナル児童書を印刷してレバノン全土の非公式教育センターに配布し、子ども達が読書の科学と神秘を楽しめる図書室を設立しました。

2023年末までに1,000以上の教育センターに45,000冊の本を届け、58,600人を超える子ども達を支援しました。また、レバノン北東部ベッカー高原の非公式教育センターに新しい図書室を15カ所設置する支援を行い、その過程で145人の教育者に図書室管理と読書活動に関するトレーニングを行いました。

[詳細はこちら](#)



# 私達の

## 基礎学習能力

### スリランカの幼稚園で本の読み聞かせ会を実施

スリランカの識字教育チームは中部州教育省と提携し、読み聞かせ会を特に重視した幼稚園教員向け研修プログラムの開発を援助しました。教員主導で対話型読み聞かせを行うことで、子ども達の語彙力増強や理解力向上、そして何よりも問題解決能力、視野の広さ、感情移入といった、すべての子ども達に不可欠な社会的情緒発達に極めて重要な役割を果たすという点を研修では強調しています。グループ読み聞かせ実習を幼稚園環境に先行導入することにより、スリランカ全土の子ども達が学習の土台を固めてから小学校へ上がるようにと、私達は学びの「場所」をつくっているのです。

### クライメイト・ジャスティス・クラブ(気候正義会)をベトナムとネパールに設置

山積する気候変動の諸問題に対応するには、気候変動の科学や、気候変動とジェンダー平等との関連で発生する社会的余波などの、気候正義の教育が不可欠です。あらゆるジェンダーの子ども達がジェンダー毎に異なる気候変動の顛末を理解し対処する能力を身に付ければ、子ども達の人生は好転し、その結果すべての国々に良い影響が広がる可能性があります。

ベトナムとネパールのチームは、気候変動に焦点をあてた教材を少女達の教育カリキュラムに近年盛り込みました。ベトナムでは、塩水侵食の脅威にさらされるメコンデルタ地域にある中高等教育施設2校において、気候正義(気候変動の影響に対して公平で、全ての人々の権利とニーズを尊重するアプローチ)の講義が始まりました。この講義はルーム・トゥー・リードとヴィンロン省教育訓練局との提携により実施し、今後2年間で250人以上の子ども達が気候変動とジェンダー不平等の関係について話し合うことを目的としています。

ネパールでは、浸水が深刻化するバンケ地区にある26の学校で気候正義の講義が行われました。直近の気候変動に取り組むために必要な知識や手段を6年生の少女達500人以上が学習するにあたり、彼女たちを援助する内容となっています。

### 気候変動の学習に参加しませんか。(英語)





## ウガンダ国指定教科書の改訂を補佐

ルーム・トゥ・リードは、ウガンダの2地区で児童書のローカライズと展開を成功裏に収め、教育者たちを図書室研修にて援助しました。その後、地元NGOパートナーのウガンダ読書協会(RAU)と共に政府のパートナー団体と連携し、1年生向け教材の開発に着手しました。

ウガンダ政府は質の高さに満足し、ルーム・トゥ・リードとRAUの協力にて国の教科書改訂の参考となる1年生向け指導書の迅速な作成を要請しました。ルーム・トゥ・リードとRAUは現地の教師、学校管理者、イラストレーター、デザイナーの協力を得て、ルガンダ語およびルニャンコレ・ルキガ語という現地の主要2言語を用い、指導書と付録の教育者向け案内書を作成しました。草案は僅か3週間で作成されました。



## 「平等のためのライフスキル・プロジェクト」カンボジアから得た知見

2022年にカンボジアで開始された2年間のパイロット・プログラムである「平等のためのライフスキル・プロジェクト」は、少年たちにライフスキルとジェンダー教育を提供し、彼らが学校や生活で成功し、ジェンダー平等のための闘いに積極的に参加できるようにするものでした。

学習成果をよりよく理解し、プログラムの規模拡大に役立てるため、私達の調査・モニタリング・評価チームは、多段階・混合手法による堅実なプログラム評価を実施しました。昨年1年間の評価の結果、参加者がジェンダー関連概念への意識を高めたことが明らかになりました。特に思春期、セクシュアリティと健康、ジェンダーが理由の暴力、ジェンダーに基づく規範・規制などで顕著でした。評価の結果、女子との交流の質を男子側がよりいっそう意識するようになったこと、ジェンダー平等の達成に不可欠な主要ライフスキルを身につけていることが明らかになりました。

パイロット・プログラムが成功した事を踏まえ、カンボジアの教育・青少年・スポーツ省は、ルーム・トゥ・リードのライフスキル・カリキュラムを7年生から9年生で採用しました。ジェンダー平等を奨励するライフスキルを低学年の子ども達が学べるよう、学びの「場所」を国土に広げたこととなります。

[調査の詳細はこちらをご覧ください](#)



\$58,141,144

寄付

\$4,630,142

物資による寄付

# より多くの さらなる成功に向けて

## 2023年財務報告



86%

各種プログラムに使用  
した支援および収益

77%

識字教育

23%

ジェンダー平等



### 投資者タイプ別 寄付内訳:

37% 個人

31% 企業

26% 財団・基金

6% 学校・政府・その他

### 地域別 寄付内訳:

55%

南北アメリ  
リカ

26%

欧州および中東

3%

東アジア

1%

アフリカ

11%

南アジア

4%

オーストラリア

## 活動報告書

2022年12月31日に終了した年次、および、2023年12月31日に終了した年次(米ドル)

支援および収益	2022年	2023年
企業	\$19,843,235	\$17,844,797
財団・基金	\$10,127,535	\$15,334,383
個人	\$22,007,328	\$21,143,932
学校・政府・その他	\$5,449,918	\$3,712,077
<b>寄付合計</b>	<b>\$57,428,016</b>	<b>\$58,035,189</b>
契約収入	\$118,394	\$105,955
物資による寄付	\$6,496,220	\$4,630,142
投資およびその他の収益、特別イベント出費、諸費用	\$(6,958,125)	\$1,902,856
<b>支援および収益合計</b>	<b>\$57,084,505</b>	<b>\$64,674,142</b>

運営経費	2022年	2023年
プログラム・サービス		
識字教育	\$40,830,851	\$43,133,700
ジェンダー平等	\$16,880,815	\$13,080,337
プログラム運営費合計	\$57,711,666	\$56,214,037
運営・管理費	\$2,771,051	\$2,638,885
資金調達活動	\$6,387,207	\$6,154,932
<b>運営経費合計</b>	<b>\$66,869,924</b>	<b>\$65,007,854</b>
翻訳費用調整	\$(915,290)	\$(324,661)

純資産変化額(寄贈者に制限なし)	\$(14,829,261)	\$(2,036,109)
純資産変化額(寄贈者に制限あり)	\$4,128,552	\$2,027,058
年初の純資産額(寄贈者に制限なし)	\$49,122,464	\$34,293,203
年初の純資産額(寄贈者に制限あり)	\$25,107,358	\$29,235,910
<b>年度末純資産額</b>	<b>\$63,529,113</b>	<b>\$63,520,062</b>

財務の効率性、透明性、説明責任は、ルーム・トゥ・リードが掲げる価値の根幹です。私達の活動は、グローバル・ネットワークを築くパートナーやサポーターの寛大な心に支えられています。私達は最大限のインパクトをもたらすために皆様の支援を活用し、投資資金の使途を透明性をもって共有することをお約束いたします。

ルーム・トゥ・リードはまた、プログラムへ充当する金額を最大限に引き上げるべく、業界平均を大幅に下回る水準で運営管理費を維持してまいります。\$1につき\$0.86の割合で資金を識字教育とジェンダー平等プログラムへ確実に充当し、より多くの子ども達が質の高い教育を受けられるよう、学びの「場所」を確実につくっていきます。

# パートナーシップの「場所」をつくる

## サポーターのハイライト

世界中のグローバル・パートナーに感謝するとともに、2023年に5万ドル以上の寄付をいただいた最も寛大な投資家の方々、および肝要な現物寄付をいただいた方々へ御礼を申し上げます。[詳しくはこちらをご覧ください。](#) (英語)

世界中の人材からなる非常に広範なグローバル・ネットワークがあることを誇りに思います。彼らは寛大にも、私達のミッション遂行を援助するための時間、サービス、情熱を提供してくださいました。2023年における私達の業績は、[グローバル・ボード](#)、[リージョナル・ボード](#)、[支持者](#)、[アンバサダー](#)、[ボランティア](#) (英語) の皆様の貢献によるものです。

## [グローバル・リーダーシップおよび理事会のご紹介](#) (英語)

### humanitix

#### 市場を覆す革新の「場所」をつくる

画期的な非営利チケット販売システムを運営するヒューマニティクスは、人間性を第一に考えた手間のかからないチケット発行を信条としており、得られた利益の100%を慈善事業に寄付しています。2018年からルーム・トゥ・リードのパートナーであるヒューマニティクスは、世界中の3万人を超える子ども達を過去5年間にわたって支援してきました。事業が拡大するにつれてインパクトもさらに拡大しています。ヒューマニティクスはチケット販売業界をより良い方向へと変革しています。その活動を通じて、世界中の何千人もの年少の生徒たちが確実に質の高い教育を受けることが可能にしているのです。

### Aēsop®

#### アクセスの「場所」をつくる

日常生活をより豊かにするという信念を原動力とするイソップは、感覚的な製品の販売のみにとどまらず、私達が奉仕する地域社会を向上する取り組みを行っています。イソップ財団はルーム・トゥ・リードと提携し、排除されてきたコミュニティを援助するとともに、重大なグローバル課題に取り組む支援活動をしています。

2023年には、イソップからの寄付金によりアジアの子ども達約3,300人に支援を届けることができました。学校と生徒たちに5万冊以上もの新しい本を配布することで、質の高い教育へのアクセスをしっかりと確保しています。イソップと私達は互いに協力し、よりインクルーシブで学びのある世界を創り上げ、踏み出す一歩がいつか世界を永続的に変える歩みにつながると確信しながら進んでまいります。

### RTI INTERNATIONAL

#### インクルージョンの「場所」をつくる

ルーム・トゥ・リードはリサーチ・トライアングル・インターナショナル (RTI) と提携し、米国国際開発庁 (USAID) の資金援助を受け、5年間のUSAIDインクルーシブ初等教育活動を実施しました。このプロジェクトでは、カンボジアの教育・青少年・スポーツ省との協力のもと、障害の有無にかかわらず、小学校低学年における読解力を向上させていきます。ルーム・トゥ・リードは、低学年の学習および実習教材のデザイン・開発・展開に貢献するとともに、低学年層の読書モデルを制度化するため教員養成大学を援助しました。プロジェクト終了までには6,683を超える学校がこのプログラムを採用し、その結果70万人以上の生徒を支援できると見込んでいます。





写真クレジット:アフザル・シディーク、アリ・メドレジ、アマルジート・クマール・シン、アミット・マチャマシ、チェンラ・メディア、インタ・ソウリヴォン、ファハド・カイザー、ファウジー・チャニアゴ、ハイ・グエン、ジョナサン・セニ、JwBフォトグラフィー、ミン・ドゥック・グエン、ナム・グエン、ニスタ・タパ・シュレスタ、プリンス・プラズン、スバシュ・セマシムへ、ヴオクシム・スリン

# 皆様からのご支援により、すべての子ども達が困難を乗り越えて前に進める、より公平な未来を創造する機会が生まれるのです。

## 国際的な活動を応援しませんか

私達の仕事を支援してくれる何千人もの情熱にあふれ献身的なボランティアの皆様には、感謝してもしきれません。ボランティアのネットワークが、それぞれのコミュニティでの募金活動や認知度を高める活動を通じて、ルーム・トゥ・リードの成功を支えています。

### ボランティア・サポーターになる

## マンスリーサポート(継続寄付)

毎月ご寄付いただくと、私達が最も必要とするプログラムを拡大できる確実な資金源となります。皆様からのご支援により、教育、ジェンダー、経済面で深刻な不平等に陥っている地域の子ども達が高いスキルを身につけ、充実した生活を送り、より良い明日を創造するために必要な学びの「場所」を見つけることができるでしょう。

### 寄付する

## マッチング・ギフト・プログラムの設定

マッチング・ギフト・プログラムとは、従業員が行った寄付と同額を雇用主が寄付することで、従業員が熱心に取り組んでいる非営利団体を支援することを目的としています。マッチング・ギフト・プログラムを活用すると、その効果が2倍または3倍になります。

## 教育をご自身の「レガシー」に

遺贈や遺産によるご寄付を通じて、非識字やジェンダーの不平等を過去のものにすることができます。

### 詳しくはこちら





## ルーム・トゥ・リードのグローバル・コミュニティの一員になりませんか

ルーム・トゥ・リードのグローバル・オフィス(英語): コロンボ、ダルエスサラーム、ダッカ、デリー、ドバイ、ホーチミン、香港、カトマンズ、ロンドン、ムンバイ、ナイロビ、ニューヨーク、プノンペン、プレトリア、サンフランシスコ、シンガポール、シドニー、東京、千葉、ビエンチャン、ワシントンD.C.、チューリッヒ

認定NPO法人ルーム・トゥ・リード・ジャパン

ウェブサイト: <https://japan.roomtoread.org/>

お問合せ: [japan@roomtoread.org](mailto:japan@roomtoread.org)

